



太田市生活支援体制整備事業

「休泊にこにこ協議体」



生活支援
体制整備
事業とは？

地域支援事業の一つとして、2015年から実施しています。主な役割は、
生活支援コーディネーター（地域のさまざまな活動やサービスをつなぐ、調
整役）の配置と、協議体（自治会長や民生委員等で構成）の設置です。

民生・児童委員

町会・自治会

シニアクラブ



生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)

地域包括支援センター

その他 必要な団体

協議体は何をするのか？



- 【なぜ】超高齢社会（元気な高齢者も増える）を迎えるため
- 【誰が】協議体のメンバー（多様な主体）が中心となり
- 【何を】地域の支え合い（互助）を
- 【どうする】推進する（広げていく）
- 【どうやって】やり方は決まっていない（それを話し合う）



協議体の様子

休泊にこにこ協議体の活動

「休泊にこにこ協議体」は平成30年度に”誰とでも、仲良く楽しく、にこにこ協議体”を目指して設立されました。

高齢になっても、ひとり暮らしになっても、安心して豊かな暮らしができる休泊地区の将来を見据え「互助による地域づくり」を目標に、おおむね3ヶ月に1回、休泊行政センターで話し合いが行われています。

協議体メンバー
が地域で行っている活動

① 協議体でピックアップした地域の活動を見学し、休泊地区のいい所を確認しました

協議体メンバーが見学する様子



龍舞町3区「平成クラブ」
芋煮会



沖之郷町「共寿会」
お誕生日会

ささえあい発表会
の様子

② 休泊地区「地域のお宝」
ささえあい発表会を開催しました

ささえあい発表会とは？

日頃から地域住民同士でおこなわれている当たり前で身近な支え合い活動（地域のお宝）を住民の皆さんに広め、支え合いや助け合いにあふれる地域づくりを進めるために各地区で“ささえあい発表会”を開催しています。



挨拶する寺内幹夫議長



司会を務める
見内明江さん



登壇する「平成クラブ」
小林茂弘さん



登壇する「もくの会」
武藤智恵子さん



Follow
Instagram

つながる通信
バックナンバー



住み慣れた地域で最後まで安心して暮らし続けるためには、介護保険制度だけでなく、支え合い・助け合い（互助）が欠かせません。そのためには、地域に密着した協議体の力が必要です。今後も、休泊にこにこ協議体では、互助による地域づくりを推進していきます。